

平成 29 年度 福寿荘介護予防啓発講座

介護予防大作戦 in 気仙沼



日時 6月23日(金)午後1時～

場所 気仙沼市老人福祉センター「福寿荘」

講師:大淵修一(おおぶち しゅういち) 氏

東京都健康長寿医療センター研究所「福祉と生活ケア研究チーム」研究部長
東京都介護予防推進支援センター長

講演:あたらしい健康づくりの目標について

対象:福寿荘「趣味の集い」参加者全員

……次第……

13:00 開会

講演

「あたらしい健康づくりの目標について」

新しい目標への対応策・地域づくりによる介護予防

— 休憩 —

14:00～ 海潮音(みしおね)体操

～あんだも はまらいん!～

講師:樋口和奏(ひぐち わかな)氏 理学療法士

東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科

— 質疑応答 —

運動で足腰を
丈夫にしましょう



MY介護の広場

(日常の生活で心配なこと お気軽にご相談ください)

主催:社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会、気仙沼市老人福祉センター「福寿荘」
共催:気仙沼支援・医療・福祉関係5団体、東京都健康長寿医療センター研究所

先生の紹介

➤大淵 修一 氏

東京都健康長寿医療センター研究所(東京都老人総合研究所) 「福祉と生活ケア研究チーム」研究部長、東京都介護予防推進支援センター長

昭和 61 (1986) 年、国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院卒業の後、東京警察病院にて、理学療法士として勤務。その後、ジョージア州立大学大学院にて、理学修士号、北里大学医学部大学院にて医学博士号取得。北里大学助教授、東京都老人総合研究所介護予防緊急対策室長、高齢者健康増進事業支援室長、在宅療養支援研究副部長を経て、現在に至る。

介護予防包括的高齢者運動トレーニング (CGT) の開発、厚生労働省介護予防マニュアル第 3 章「運動器の機能向上マニュアル」執筆、介護予防リーダー養成講座の開発等を通して、介護予防のまちづくりを日本に普及・定着させる活動を行っている。専門は、理学療法学、老年学、リハビリテーション医学など。その他、著書多数。

➤樋口 和奏 氏

東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科 理学療法士

平成 26 年 3 月 杏林大学保健学部理学療法学科 卒業。

平成 26 年 4 月 東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科 入職。

平成 27 年から、研究所「福祉と生活ケア研究チーム」の江尻研究員とともに、震災支援の一環として、気仙沼バージョンのご当地介護予防体操（「ころぶんすなよ！海潮音（みしおね）体操 あんだもはまらいん！」）の地元制作メンバーをサポート。

日本理学療法士協会、公衆衛生学会所属。